



風車にトラブルがあるとアラームが鳴る。そのアラームの種類は100以上あるという。自然エネルギーを影で支えている寺地さんはジムで体力づくりを欠かさない

**Check!**  
運用・保守

風力発電の運転管理業務・維持管理業務を行う。

# 風を地域のエネルギーに変え 未来につなげる風力発電を守る

作業現場は地上70m  
そこから見る景色は最高

再生可能エネルギーである風力発電に興味があり、前職で鉄道会社の車両メンテナンスを担当して

いたので、経験をいかせると思い入社しました。メンテナンスの基本的な考え方は一緒ですが、風車は多くが海外メーカーで、会社ごとに内部の構造、発電機、ブレード(羽根)の制御方法などが違い、図面は英語かスペイン語なのでまずそれを読み覚えるのが大変でした。

シンプルに見える風車ですが中はとても複雑で、タワーは制御室など4つのフロアに分かれ、タワーの一番上のブレードにつながっているナセル※という部分に発電機や増速機といった発電に重要な機器が納められています。ナセルまで一人乗りの登降機が付いている風車もありますが、僕は体力づくりのために70mあるナセルまでではなく上ります。30kgの工具などを持つて上ることもあるので体力勝負。



株式会社市民風力発電  
技術部  
マネージャー  
寺地 淳さん(37歳)  
【出身中学校】  
恵庭市立柏岡中学校  
【出身高校】  
苫小牧工業高等専門学校

作業の後にナセルに腰掛けて見る景色はとにかく最高です。ブレードは時速200kmの速さで回転しているの、小さな穴が開くと1km先まで聞こえる音がビューと鳴ります。クレーンでブレードまで上がります。クレーンでブレードまで上がり修繕するのですが、このメンテナンスが結構好きです。原因が特定できないトラブルも多いのですが、それを解決して風車が回っているのを見るのが大きなやりがいです。

※ナセル:タワーの上に乗っているボックスの部分で、その先端にブレード部分が付いている

取材協力

## 株式会社 市民風力発電

地域の風を地域の資産に換える風力発電事業。日本に現在56基設置。再生可能エネルギーへの想いをたくさんの人と共有して風車を建設・維持し、地域の人々にエネルギーを還元する。

〒060-0005 札幌市中央区北5条西2丁目5番地  
JRタワーオフィスプラザさっぽろ20階  
☎011-280-1550 (代)  
🌐<https://cwp-wind.jp/>  
📅2001(平成13)年2月 員20名  
代表取締役 鈴木 亨